学習指導案　略案様式（特別の教科　道徳を除く）

２年１組	指導者	馬場　美咲	教科等	国語科

単元

単元名等	かんさつ名人になろう		
	目標	**評価規準**	**※どちらかを選択し、　　で囲ってください。**
	知識及び技能	知識・技能	○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができるようにする。　【知（１）オ】
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり、確かめたりして伝えたいことを明確にすることができるようにする。　【思Ｂ（１）ア】
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり、確かめたりして伝えたいことを明確にし、観察記録文を書こうとするようにする。

単元の学習展開（全９時間）

導入	□学習の見通しをもつ。 ・トマトを育てている経験をもとに丁寧に観察する大切さやおもしろさを思い出す。
展開	□トマトをくわしく観察し、見つけたことや気づいたことをメモして、書く順序を考える。 □メモを基に観察記録文を書く。
終末	□書いた文章を友だちと読み合い、よいところやよく分かる書き方について伝え合う。 ・学習を振り返る。

本時（４／全７時間）

ねらい	トマトの観察メモについて、 友だちのメモや教師の例文と比べながら、何について書いているかや様子、観察の仕方に着目しながら友だちと互いに質問し合うことを通して、 詳しく説明するために必要な内容を集めることができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連**【◆思考・判断・表現　ノート・タブレットの記述】**）
学習過程	「めあて」 「観察したことがよく伝わるように、観察メモをくわしくしよう。」 『課題』 『観察したことが友だちにもよく伝わるメモにするには、どんなことを書けばよいかな。』 『まとめ』 『友だちによく伝わるメモにするには、 「花は」「花びらは」など、何のことかがわかるように書くとよい。 「みたいだ」「ようだ」などを使って、様子を詳しく書くとよい。 どうやって観察したかを書くとよい。　など』 「振り返り」の視点 ・友だちによく伝わるように、観察メモを詳しくすることができたか。 ・友だちと質問し合って、新たに気づいたことをメモに加えることができたか。

努力を要する状況の児童に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	・観察メモに書いている内容が少なく、書きたいことを選べない。	・友だちにわからないことを質問してもらい、詳しく説明するために必要な内容を集めさせる。